

AGRI WORK POINT

アグリ ワーク ポイント



果樹生産センター 信方 浩志郎

樹勢回復

収穫終了後は、樹勢回復や花芽分化の充実を図るため、尿素500倍を1週間間隔で2〜3回程度散布して下さい。

寒害対策

冷気が停滞しやすい場所や風の当たりやすい場所は、寒冷紗やコモで樹を覆います。土壌の乾燥は寒害を助長するので、敷き藁を実施して乾燥防止に努めましょう。

中晩柑の収穫

1月に入ると中晩柑類も随時収穫時期となります。収穫の目安は【表1】の通りです。ただし、寒波が襲来して-3℃以下の低温に長時間さらされると凍害の発生が懸念されるため、十分に注意しましょう。

病害虫防除

冬季のうちに越冬害虫の密度を下げておくことが後々の防除効果につながります。マシン油乳剤は、害虫に直接かかるよう、葉裏まで丁寧に散布しましょう。尿素を混用すると樹勢回復にもつながり効率的です。また、降雨で効果が減退してしまうため、5日程度の晴天が続くことを確認して散布しましょう。

【表1】主な中晩柑類の収穫の目安

品種名	収穫時期	出荷時期
はるみ	12月下旬〜1月下旬	2月上旬
スルガエレガント	1月下旬〜2月中旬	3月上旬
不知火	2月上旬〜2月下旬	3月上旬
せとか	2月上旬〜2月下旬	2月下旬〜3月下旬

●1月上中旬

・カイガラムシ類、ハダニ類

マシン油乳剤(97%) 60倍